

プロフィール

水落 芳明 みずおち よしあき 教授（実務家教員）



【担当コース】

- ・ 教育臨床コース
- ・ 教育経営コース

【担当講義】

- ・ 学習デザイン論
- ・ 子どもを引きつける授業づくりの理論と実際

【プロジェクトテーマ例】

- ・ 目標と学習と評価の一体化による授業デザイン
- ・ 教科指導におけるICT活用

【包含できる研究テーマ】

- ・ 学び合う学習集団づくり
- ・ 教科指導における人間関係づくり
- ・ 特別支援を必要とする児童のいる学級における学習デザイン

研究内容及び指導内容

今、様々なところで「絆」や「つながり」という言葉を耳にします。人がつながり、助け合うことの価値が見直されているのです。では、学校はそうしたニーズにどのように応えていけばよいのでしょうか？子どもたちが学校生活でもっとも多く時間を過ごすのは授業です。教科の学習の中で、つながることの価値を学んでいくことが大切です。また、先生方も様々な助け合う姿を子どもたちに見せ、夢を与えられる幸せな存在でありたいものです。

私の夢は「優れた教育実践のメカニズムを解き明かし、誰もが共有できるようにすること。それによって、子どもたちや先生方、関係する人たちが幸せになること」です。

先生と先生が手をつなぎ、その手と手を子どもたちや保護者の皆さん、地域の皆さんとつないでいくための学習デザインや学校づくりについて、一緒に考え、学んでいくことができれば素敵ですね。

中学校6年、小学校14年の教師生活でお世話になった皆様から学んだこと、研究生活で学んだことをいかし、実践研究と学術研究の融合を視点とした研究を行います。研究成果は、毎年様々な学会、研究会で発表しています。

その他

群馬県教員、新潟県教員を経て本学に着任。

兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科博士課程修了。博士（学校教育学）

実践的な活動としては、2005年夏から毎年、「教室『学び合い』フォーラム」を開催し、全国の実践者、研究者と交流を深めています。詳しくは「教室『学び合い』フォーラム」HPをご覧ください。

学会活動としては、以下の学会誌に論文が掲載されているほか、日本科学教育学会北陸甲信越支部支部長を務めています。

日本教育工学会、日本科学教育学会、日本理科教育学会、日本教科教育学会、日本教育実践学会、日本地学教育学会

また、博士課程（兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科）も担当しています。

その他、論文、著書、研究室活動の様子等については、水落研究室HPをご覧ください。

プロフィール

阿部 隆幸 あべ たかゆき 准教授（実務家教員）



【包含できる研究テーマ】

- ・ 協同的な授業づくり
- ・ 授業づくりと学級づくりの関係
- ・ 授業の個別化と協同化の往来
- ・ 授業を通じた人間関係づくり
- ・ 授業リフレクション

研究内容及び指導内容

私が小学校現場にいた頃からこだわってきたことが「授業」のあり方です。授業の中で授業の目的を達成する（ことで学力を身に付ける）と同時に、いかにして生活力（特に人間関係を良好に築く力）を身に付けるかということ意識して行ってきました。「授業」は子どもたちの学校生活のほとんどの時間を占めます。つまりは子どもたちの「日常」です。この日常という授業の中で、「学力」と「生活力」が互いに支え合いながら同時に身に付くことができれば今後の社会生活を営む上で大きな力となるでしょう。

その際、考えていきたいのは子どもの主体性です。授業の中で「学力」と「生活力」が互いに支え合い、身に付くためには、従来に多く見られた教師の一方的な講義式の授業では難しいです。子どもたちが関わり合いながら目的を達成していくような授業設計が必要です。近年、アクティブ・ラーニングの波を受けて様々に子どもが主体的に活動することを重視した授業実践が発表されています。それらを参考にして、理論と実践の往還をくり返し価値ある授業のあり方を研究し、提案していきたいと考えています。

私の27年間の小学校教員人生での活動の中心はNPO法人授業づくりネットワークを代表とする民間教育でした。そこには既成の枠を越えて自分の理想に燃えた授業実践を互いに交流し合える熱い場があります。私がこの場にいるのはこの経験を生かす役割を任されたからと解釈します。民間教育で培った様々な方とのつながりから生み出す創造豊かな実践研究とデータと理論を重視する学術研究を融合した成果を残していくつもりです。

その他

福島県出身。平成元年より福島県公立小学校教員として採用され27年間勤務。異質からの学びを標榜し数々の新しい提案をしてきた「NPO法人授業づくりネットワーク」の副理事長を担ったり、東北地方で若手教員の実践力を身に付けることを目的として「東北青年塾」を設立したりしました。これらの組織を土台に、集会活動を企画したり、自ら講座講演を開いたり、教育雑誌の執筆をしたりしてきました。

著書に『活用・探究力』を鍛える社会科“表現”ワーク小学校編（単著、明治図書、2011）、『成功する『学び合い』はここが違う！』（共著、学事出版、2014）、『頭ほぐし』の学習ベスト50-はじめの5分で頭の準備運動を！』（編著、学事出版、2014）他があります。他の著書、雑誌執筆、研究室活動の様子や授業、講演、等の情報については日々更新する「あべたか研究室HP」をご覧ください。